

平成 26 年度 研究計画書

Research Plan FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア I・准教授
氏名 Name	林 初梅
専門分野 Academic Field	言語社会学

平成 26 年度 研究計画 Research Plan FY2014

主たる研究テーマ Principal Research Subject	植民地台湾をめぐる記憶の語りと 1990 年代の郷土教育				
研究計画 Research Plan					
<p>1990 年代以降の台湾では、植民地時代をめぐる郷土の記憶が多く語られている。郷土教育三教科の設置によってもたらされた影響が大きいと思われる。なぜならば、1990 年代の郷土教育三教科は植民地時代の語りを促進するメカニズムを持っていたからである。</p> <p>言い換えれば、本研究が注目しているのは、教育の郷土化が進行しただけではなく、日本統治時代の歴史化と記憶化もそれと併行して郷土教育に包摂されたという現象である。その郷土教育の実践は植民地時代の記憶の語りによどのような影響を及ぼしたのか。そのプロセスを考察することが本研究の課題である。</p> <p>台湾における植民地時代の記憶の語りは、社会現象として社会の隅々にまで広く発生しており、様々な形で進行しているが、本年度はそれらの中から、①郷土読本の復刻・翻訳作業、②北投温泉公衆浴場の再生作業、の二つの事例を分析する。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	地域研究	社会学			
キーワード Keywords	台湾	日本統治時代	集合的記憶	郷土	歴史